

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	阿智の夏まつり支援事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
-------	-------------	-----	---------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5. 持続可能な村、住民が主体の村／協働の推進／住民主体の協働の村			
関連する主な計画等				
根拠法				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	阿智村民			
事業開始年	H1	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	村民が主体となり、個人、団体、自治会が企画に加わり、積極的に参加することにより人と人とのコミュニケーションを深める。阿智村の活況を示し、住民が阿智村に住んでいることの意義、誇りを高める。					
具体的取組	阿智の夏まつり実行委員会を行うに当たり、80人規模の人を集め会議を行っている。こうした会議を数回行い、実行委員、村民が主体となって阿智の夏まつりを行おうとする意識醸成につなげている。ひいては、村づくり、地域づくりに向けて目を向けていただいている。					
実績・効果	阿智村のお祭りとして、村民が一つになり活動できる場である。中之橋架け替え工事のため、初の橋下流での打上げでしたが事故なく終えることができた。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	補助金	4,000				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	3,500	3,500	4,000	4,200	4,000
	うち一般財源	3,500	3,500	4,000	4,200	4,000
	うち補助金					
	うち個人負担					
	従事職員 (人)	2 正規職員 1 臨時職員	2 1	2 1	2 1	2 1

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	阿智村のお祭りであり、住民のニーズは高い	A
	手段、成果は妥当か	a	平成元年から現在の実行委員体制で行っていて、支援するのは妥当	
	対象者の設定は妥当か	a	全村民であり妥当	
	村の関与は妥当か	a	実行委員会では事務局、また補助金を交付する立場であり妥当	
有効性	期待された効果が得られたか	住民が主体となり、住民が参加して行うお祭りが実施できた	A	
効率性	コストの削減に努めたか	a	余地なし	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	余地なし	
公平性	受益者負担は適切か	花火への寄付金をいただいている	A	
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	よそにない阿智の夏まつりならではの花火、催し物の周知が必要。
今後の取り組み	継続して支援していく。